

日本
経済
新聞

号外

ご購入・ご試読の
お申し込み

NIKKEI

☎0120-21-4946
(7:00~21:00)<https://www.nikkei4946.com/tg/>

日経電子版

<https://www.nikkei.com/>

マイナス金利解除



金融政策決定会合のため日銀本店に入る植田総裁(19日午前)＝代表撮影

日銀、0.1%に利上げ

長短金利操作も撤廃

日銀は19日の金融政策決定会合でマイナス金利政策の解除を決めた。マイナス0.1%としていた政策金利を0.1%程度(無担保コール翌日物レート)に引き上げた。長期金利を低く抑え込むための長短金利操作(イールドカーブ・コントロール、YCC)や上場投資信託(ETF)などリスク資産の買い入れ終了も決めた。日銀の大規模緩和は大きな転換点を迎えた。

日銀は物価2%目標を持続的に安定的に達成できる見通しがたつたと判断し、17年ぶりの利上げに踏み切った。決定文では「マイナス金利解除後も」当面、緩和的な金融環境が継続する」とした。植田和男総裁が19日午後記者会見し、決定内容を説明する。

日銀は2016年2月にマイ

ナス金利政策を導入し、金融機関が日銀にあずける当座預金の一部にマイナス0.1%を適用してきた。マイナス0.1%を政策金利としていたが、無担保コール翌日物レートに変更した上で0.1%程度に誘導する。

16年9月に導入し大規模緩和の柱となってきたYCCも撤廃する。短期の政策金利をマイナス0.1%、長期金利の誘導目標を「ゼロ程度」として、金利を低く抑えるために大量の国債を買い入れてきた。

決定文で撤廃後も「これまでとおおむね同程度の金額で長期国債の買い入れを続ける」と明記した。足元は月間6兆円程度購入しているとした上で、今後はある程度の幅をもって買い入れの予定額を示すという。長期金利が急激に上昇する場合は毎月の子定額にかかわらず、機動的に国債買い入れを増やすといった措置をとる。

10年に始めたETFや不動産投資信託(REIT)の新規買い入れも終えた。償還されれば残高が減る国債と異なり、売らない限り残り続けるリスク資産を金融政策で中央銀行が買い入れるのは極めて異例だった。